
カナリア

一條刹那

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

力ナリア

【Zコード】

Z3399Z

【作者名】

一條刹那

【あらすじ】

現在随筆中の連載小説「禁断～兄と執事とお嬢様～」より。

兄、真治の視点で綴つた詩となります。

軽く本編のネタバレとなつておりますので、ご注意下さい。
なお本編につきましては18禁指定となつております。

18歳以上の方は下記よりご覧頂けます。

<http://novel118.syosetu.com/n2>

684n/

愛しい。

傍らに、静かに寝息を立てて眠る
その手が、指が
顔が…唇が。

そのすべてが愛しい。

”金で買えないものなどない”といわれる程、財力も人脈も、
欲しいものそのすべてが思いのままのこの私が…

唯一手に入れられないもの

こんなに…この胸を苦しめてならない。
それなのに、この想いは許されない。

目覚めれば君はまた、

可愛らしい笑みで、その綺麗な声で、
無邪気に私を呼ぶんだ。

兄様…と。

そのたびに、また私を苦しめる。
この手で何もかも壊してしまいたくなる。

この腕に閉じ込めて…

君を壊したくなる 。

そう……いつも

壊れてしまえばいい

戻れなくていい。

愛する君をこの腕に抱けるなら
君を連れていけるのなら

すべて捨ててしまおう…

たとえどんな潔清を受けようとでも

たとえ君が涙を流すことにならうとも

私は君を手離れないだろ？

ああ、おいで

私の力ナリア

私といつも檻で、美しく鳴かせてあげましょ？…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3399n/>

カナリア

2011年7月4日15時45分発行